



K H (統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

勧誘されたため

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初回の授業

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

初回の時期と比べると、多人数の前で話すことへの緊張感などが以前に比べて楽になりました。また、授業で学んだ内容をより深く理解することができました。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

準備などで時間を取られることが多いですが、大学生に授業を開く活動はなかなかできない経験だと思います。少しでも興味があるならやってみるとよいと思います。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

お世話になりました。一部の方は来期もお願いします





SY (統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

2015年の夏休み、得田先生からのお誘い
「成績が良かった」がお誘いいただけた理由らしいが、統計Bは70点くらいでした…

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問に来た学生に「めっちゃわかりやすい」と言ってもらえたことと、自分の作ったレジュメを見ながら勉強している人がいたこと。自分が試行錯誤した方法で問題を解いている人を見ると、SA冥利に尽きる思いがしました。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

物事を論理的に伝える・考える力、視覚的にわかりやすいもの（わかりやすい資料）を作成する力、大勢の人の前で話すことから得られる「自信」。SAでの活動を通してこれらの3つの力が格段に向上します。
就職活動、そしてその先の社会人生活においてもこれらの力は非常に大切となっていくはずです。しかもお金ももらえる。SAって、一石三鳥、いや四鳥だと思いませんか???

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

「SAってめっちゃくちゃ忙しいんじゃないの??」という声をよく聞きます。
確かに忙しいです。
でもそれを乗り切った暁には上の項目で挙げた力を手に入れられる、ハイリターンな仕事だと思っています。論理的に話す力、自信をもって話す力、また、聞き手にわかるように説明する力、これらの力の有無は皆さんの生活の延長線上にある「就職活動」に非常に影響してきます。
知識なんて後から身に着けりゃいい。人を変えるのは立場です。
皆さんの自主的な挑戦を待っています。
余談ですが、SAの話、就活でめっちゃウケいいです。参考までに。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

皆様今期も本当にありがとうございました。来期もよろしくお願いいたします。



H K (統計学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

友人にやってみない?と言われた事と、1年生の頃からきっかけがあれば、やってみたいなと思っていたためです。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

私が休んだため、回数は少なかったものの、去年と同じメンバーと一緒に講義が出来たことです。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAを経験する前は、大勢の人の前に立って話をするのは今までで一度もなく、そのような貴重な機会を得ることが出来たのはとても有益であったと思います。

また、同世代の人に対して授業を行うという、なかなかやってみようと思っててもできないことを経験できたのも、良かったと思います。

受講生にどのように説明したら分かりやすくなるのか、よりよい授業にするためにはどうしたらいいのか、など考えたのは今後何かの役に立つのではないかと思います。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

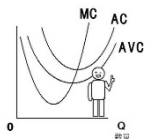
一度でいいので説明会に行ってみたり、SAの人の話を聞いてみたりして、どのようなことをやっているのか、やりがいは何か、などを聞いてみて、自分でもできそうと思ったらやってみることが大事だと思います。また新たな仲間が出来たり、SAと担当の先生方で集まって食事会をしたりなど、いいこともたくさんあると思います。

SAに少しでも興味がある学生の方には、ぜひやっていただきたいと思います。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

全く戦力になれず、申し訳ありませんでした。

私は今学期でSAの業務から離れますが、来学期も変わらず頑張ってください。



SY (ミクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

友人にミクロ経済学を教えていたことがそのまま生かせると思ったから始めた。
今までSAを通して得た経験を仲間や後輩に伝えるために今も継続している。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

去年自分が作った資料があったため、資料作成が少し楽だった。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

受講生を理解まで誘導する目的で簡単な論理展開を説明することを重視してみたら効果的に説明できた。次からはもっと活用しようと思う。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

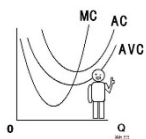
自分と同じやり方で受講生が理解してくれるとは限らない。
1つの授業を作るためには、無駄のない計画と構成が必要。
SAならそれが身につけられる。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

準備は早いうちからすること。授業の2日前には、授業で何をするのかが決まっていて、資料が半分以上できていることが望ましい。
仲間と話しているうちにアイデアが浮かぶことが多いので、積極的に相談すること。

$$x_1^* = \frac{\alpha M}{(\alpha + \beta)p_1},$$

$$x_2^* = \frac{\beta M}{(\alpha + \beta)p_2},$$



T D (ミクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

元々はやらずに公務員試験の勉強に専念する予定でしたが、Yくんが一人でやることになるかもしれないことを受け、彼の力になれるよう、前回に引き続きやることにしました。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

素晴らしい同期と後輩、そして受講生に恵まれました。

SA同士は科目の垣根を越えて仲が良く、授業内容以外の話も頻繁に相談でき、大学生活を送り、かつ講師業をするにあたって非常に恵まれた環境です。

特に、ミクロとマクロのSAの仲は良く、何度も夜を明かすほど遊んでいたもので、今日は何かあるかな？と毎日スペースに行くことが楽しみでした。そんな一緒にいることが楽しいかつ信頼の置けることもあり、毎週楽しく授業に向かえ、SAすることに充実感がありました。また、受講生も真面目に受講してくれたので授業はやりやすく、頑張っている姿を見て、みんなをぜひ受からせてあげたいと思えるほどにやりがいがありました。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

前回にもまして、ポイントを掴んで解説する力が身に付いたことです。

さらに雰囲気を見て、理解しているそうか、そうでないかでどこまで抽象性、具体性を持って解説するかの見極めも少しずつできるようになりました。

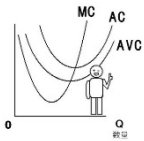
また、前はあまり自分から現在のSAの体制を変えるような意見を出すことは無かったように覚えています。しかし、今期は積極的に受講環境やテストの難易度について意見を出し、受講生が少しでもミクロ経済学を理解し、面白味を感じてくれるように努め、環境改善に取り組みました。この経験から意見の出し方を考える機会が得られ、SAの権力が大きいことがわかりました。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

経済学の内容を教えられるレベルにまで上達すると、授業への見方が変わり、さらにすぐに理解できるようになり、とても面白くなります。単位取得が楽になります。

また、多くの人前で話す能力と度胸が身に付きます。

わからない単元があっても他のSAと相談すれば答えてくれるので、いまわからなくても少しずつ経験値を積むことで自信を持って教えられるようになります。



T D (ミクロ経済学B)

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

～Yくん～

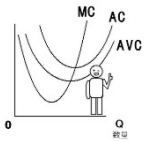
前回に引き続いて、今回も一緒にやってくれてありがとう。
スライド作りのセンスはいつもながら、去年ミクロBのSAをしていた経験からのアドバイスはとても勉強になり、授業運営の指針となりました。
Yくんのおかげで今期の授業がスムーズにできたと思っています。
授業の進め方は、就活を経たからか、以前よりポイントを掴んで過不足なく解説できるようになっていて前期と比べ、成長を感じました。
それと今期は、Yくんと解説の方向性を合わせて授業運営したことで、全体的にまとまりをでき、受講生が理解しやすい環境になったと思います。
来期は最後のSAなので、悔いの無いようにやれること、やりたいことはやり尽くそう。

～Uさん～

初めてのSAなのに、初授業でも臆すことなくとても上手く解説できていて能力がとても高いと思いました。また、わからないことはわかるまで聞く姿勢、元々持っている理解力の高さと、話の飲み込みの速さはとても勉強になり、尊敬しています。
授業については最初は話すことに余裕が無かったかもしれないけれど、回数を重ねるごとに余裕が出て、最終的に雰囲気を感じながら、言葉を選びながら授業ができていたので大きな成長を感じました。来期はどんな授業をするのか、どんなことができるようになるのかとても楽しみです。
また仲良く雑談もしてくれ、とても良い後輩に恵まれたと思います。
Uさんのおかげで、毎週の授業が楽しみに感じられたと言っても過言ではないです。
半年間、本当にありがとうございました。来期も頑張ろうね。

～織田先生～

前期に引き続きお世話になりました。
今期のCSの成功は織田先生が僕らにある程度の自由な裁量を与えてくださったおかげです。
今期の惜しいところと言えば、伊吹山に行けなかったことです。次こそは伊吹山に行きましょう。
来期もお世話になります、力不足で先生のお力を頼る場面があると思いますが、前期や今期よりもより良い授業をしようと思っておりますので、ご指導お願いいたします。



UM (ミクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

自分が受講生だった時にSAさんにお世話になったから。
ミクロ経済学が好きで、テスト前に友達教えることが多かったから。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初めてスライドを作って、事前に先輩にチェックいただいた時、半分以上、必要ないねって言われて、消すことになったときは、涙が出そうでした(笑)
科目関係なく、SAのみなさんといろんな話をしたり、唐突に出かけたりしたのが楽しかったです！

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

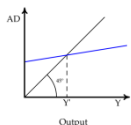
ミクロ経済学に関して、自分が受講生だった時にはわかっていなかった多くのことを自分が教える立場になって、さらに勉強することで知ることができた。もともと人前で話すことに緊張しない性格ですが、聞き手の反応を伺いながら説明をしたり、多人数に対してどう言う言い方、説明の仕方をするのが1番良いのかを考えて講義をするというのは簡単ではなくて、講義のあとに反省したり、先輩にアドバイスをもらって学ぶことが多かった。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAをやる前は、コアセッションの講義にこんなにも試行錯誤が詰まっていると知らなかったなので、想像していた以上に大変なことが多かったけれど、ミクロ経済学に対しても、教壇に立って伝えるということに対しても、学ぶことが多い半年間でした。
また、同じように経済学に興味をもつ先輩方から学ぶことは本当に多くて、1きいたら100かえってくるようなこの環境はとても貴重だと思いました。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

ミクロSAのYさんとTさんには、本当にたくさんのアドバイスをいただき、ミクロ経済学に関して不安なことはお二人に聞けば大体のことは解決してしまうことに感動しっぱなしの半年間でした！！また、マクロSAのKさんとIくんは科目を超えて仲良くしていただいて、ミクマクのSAでむちゃな行動をたくさんした楽しい思い出がいっぱいですっ！
半年間本当にたくさん教えていただき、仲良くしていただき、ありがとうございました！！
来期もよろしくお祈いしますっ！！



SK (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

SAの活動では話す力、度胸など将来も役に立つ力が身に着くと考えたから。
自身が受講生であった時のコア科目の単位取得率は基本的な内容の講義であるにも関わらず低い水準で推移しており、自分がSAになって単位取得率の向上に挑戦したかったから。
講義中に私語を行う学生、試験で不正を企てる学生など、まじめに講義を受ける学生にとって迷惑な学生の撲滅に取り組みたかったから。
SAには他では出会えない、自分を高めてくれる出会いがあると考えたから。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

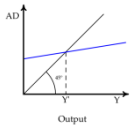
試験対策講座に合計538名の学生が集まってくれたこと。
本当にすべての椅子に人が座っている状態の大教室は初めて見た光景でした。自分の講義にここまでの学生が集まってくれたことを大変うれしく思います。
試験対策講座はSA活動の中でまだまだ可能性を秘めている制度だと感じています。
来期以降もさらなる発展の方法を考えて行きたいです。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

SAとして自分で講義をした時間は人と向き合う力の向上に大いに役立ったと考えています。
初めての講義の時、終盤に教壇の上で最後に解説するはずだった問題が解けなくなったことを昨日のこのように覚えています。それまで、自分は人前で話す機会も多く、そういったことには慣れていて考えていました。しかし、この事故は今までの自分の思い上がりを一気に打ち砕き、そこから自分に人に説明するとは何か、ひいては人と向き合うとは何かを考えさせてくれる人生のターニングポイントとなりました。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

大学で講義をすることは本来、大学院を優秀な成績で卒業した人にしか許されない行為です。
しかし、滋賀大学ではSAとなることで学部生にして講義を担当することができます。
SAをするうえで必要なのは学力ではありません。成績が良くないと思って躊躇している人がいるかもしれませんが、そんなことは気にせず、SAの扉を叩いてみてください。
扉の向こうには強いやる気を持ったあなたを待っている人たちがいるはずです。
あなたに必要なのは責任感とやる気だけです。



S K (マクロ経済学B)

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

～Iくん～

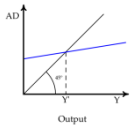
Y先生と僕で1年間築いてきた「テストで点が取れるように指導する」というSイズムを踏まえたうえで、さらにそれを発展させてくれたことに大変感謝しています。自前のパソコンを持ち歩き、資料を作る姿は日に日にたくましくなって見えました。終盤には僕がIくんにアドバイスをもらうこともあり、4回生として申し訳ないと感じる一方、半年でここまで成長してくれたことを大変うれしく思い、素晴らしい相方を持たたと心の底から感じています。特に、Iくんは物事を見て、その核心に迫る能力に長けていると感じることが多かったです。この力は来期以降、SA活動に継続して取り組む中でより受講生に求められる講義構成を自分中心となって組み立てていく中で生かせる力だと考えています。ぜひ、この力で今よりもわかりやすく、ためになる講義を作ってください。来季からは新人SAが2人入ってくるため僕とのコンビは本日をもって解散となりますが、今のIくんならもう後輩を引っ張って指導していく力は十分にあると思います。来期はさらなるマクロ経済学チームの発展の原動力となってくれることを大いに期待しております。

～Uさん～

毎週必ず全力で問題を考え、スライドを準備しているところを見るとUさんは本当に真剣にコアセッションと向き合っている人だと伝わってきました。どれだけ辛くても、どれだけ忙しくても絶対に講義準備に手を抜かないUさんの姿勢—このUさんの姿こそが本物のSAだと僕は思っています。初めはすごくSAをするか迷ったと聞いていますが、Uさんの全力で物事に取り組む姿勢はSAとして模範的であり、これから入ってくる後輩にもUさんを見て学ぶようにアドバイスしたいと思っています。来期からは2回生が新人としてミクロ経済学チームにも入ってくことで、先輩としての役割も求められるようになります。そのため、Uさんには講義に向き合う真剣な「姿勢」を後輩に背中では伝える役割を担ってほしいと思っています。Uさんの真剣さはどのSAにも負けません。来期は「本物のSA」として自信を持って後輩を引っ張ってあげてください。Uさんと初めて出会ったのは僕がまだ新人SAとして質問待機をしていた時で、その時質問者であったUさんが今、同じゼミで学び、SAとして教壇に立っていることを大変うれしく思います。担当する科目こそ違いますが、来期もさまざまな場面で一緒に活動することが多いと思います。これからもよろしくお願いします。

～Tくん～

前回の事後研修会で一転、継続を決めてくれたことで今期も一緒にSAとして活動することができました。特に4回生になってからはプライベートの時間にも関わることが多くなり、突然の思い付きで真夜中の伊吹山に星空と日の出を見に行ったり、徹夜でカラオケをしたことなどはいい思い出です。今期のSAとしてのT先生はとても頼りになる存在でした。特に試験対策講座を一人で切り盛りする姿は、自身も試験対策講座に力を入れる者としても刺激的で、自分が講座を準備するときの原動力となりました。いよいよ自分たちにSAとして残された時間は半年となりましたが、最後まで共に突っ走って行きましょう。来期もよろしくお願いします。



S K (マクロ経済学B)

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

～Yくん～

僕とのコンビを解消して早いもので半年が経ちました。
 今期は別々の科目で活動していましたが、ミクロSAのベテランとしてチームを引っ張っていく姿はさすがY先生と尊敬の眼差しを向けておりました。
 ミクロSAの人たちが作るスライドはいつ見てもわかりやすく、これはY先生が今まで作り上げてきた努力の結晶を惜しみなく他の2人に伝えてくれたからだと思います。
 Y先生は誰よりもSA全体のレベル底上げに貢献してくれていると感じています。
 来期は僕もY先生のスライド作成術について本格的に教えていただきたいです。
 よろしくをお願いします。

～織田先生～

今年も織田先生のもとでSAができることが大変うれしかったです。
 今期は中間試験前の対策講義を初めて実施しましたが、先生のご理解、ご協力のおかげで成功させることができました。ありがとうございました。
 自分のSAとしての活動も残り半年となりましたが、進化の歩みを止めることなく、最後まで突き進んでゆきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

～鈴木先生～

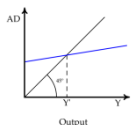
鈴木先生の講義が行われている教室はいつも学生が楽しそうに話を聞いていて、教室を盛り上げる方法をもっと鈴木先生から学ばなければいけないと感じておりました。
 いつも飲み会の後のカラオケに参加してくださりありがとうございます。
 来期もSA一同先生のご参加をお待ちしております。

$$(1) r = r^* + \mu$$

$$(2) \mu = \theta(\bar{e} - e)$$

$$(3) h - p = -\lambda r + f y$$

$$(4) g + \delta(e + p^* - p) - \sigma r + f^* y^* = y$$



II (マクロ経済学B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

先輩から、人が足りていないのでやってみないかと誘われたため。

TA・SAに関連する活動で印象に残っている出来事

初めて教壇の上に立った時の人の多さ。

TA・SAを経験して変化したこと、成長できたこと

あれだけの大人数を前にして講義をするため、否が応でも人前に出て何かを話すということにはついては慣れます。そのため、ゼミでの発表などは全く緊張などはせず、発表についてもそれなりに評価を得ることができました。
毎週、受講生たちにより伝わりやすくするためにはどうするべきかを考えていたことが、このような結果につながっているのかもしれません。

TA・SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAという活動は受講生たちの時間を使って講義をするという大きな責任を伴う立場ではありますが、その分それを毎週確実に果たしていけばしっかりとその責任を果たしていくわけですから、きっと自己の成長に繋がります。受講生を第一に考え、行動していくことで自分のスキルも磨かれるまさに一石二鳥のお仕事ですね。

担当教員やTA・SA仲間へのメッセージ

SAの先輩方や担当教員の方、支援室の方々のおかげで大きな苦勞もなく、大変楽しんでSAという業務を遂行させていただくことができました。公私の切り替えがうまく、しっかり取り組むときは取り組み、息を抜くときはしっかり抜くというメリハリのついた姿勢は多く見ることがありました。
秋学期も引き続きよろしくお願いします。